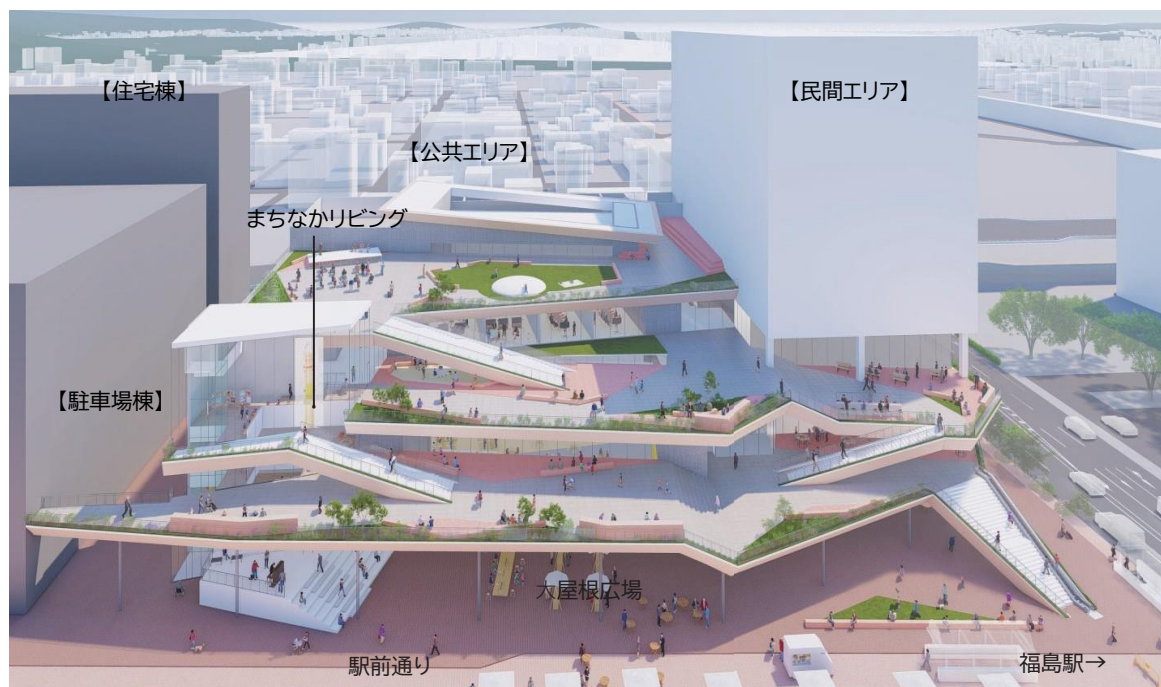




■ 駅前通りから俯瞰したイメージ。屋上広場は施設全体に展開され、それらが道のように立体的につながり、動的な印象。



■ 駅前側交差点から見る。



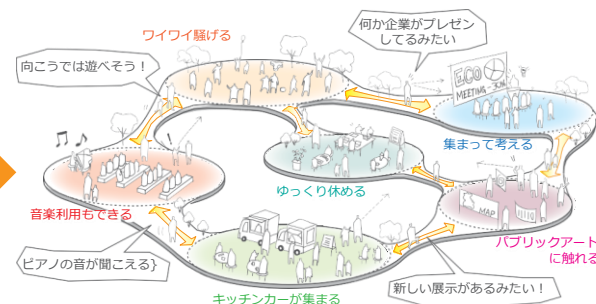
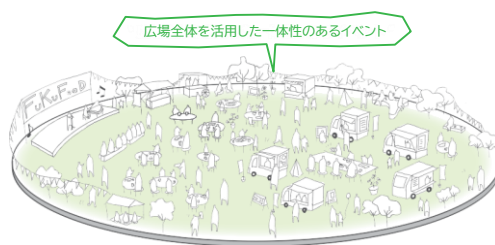
■ 地下道出口(駅前通り)付近から見る。

<見直し方針時からの主な変更点>

- ①ホールに可変スペースを設け雁行させる(形状が矩形ではない)ことで、よりフレキシブルに組み合わせて様々な大きさの空間を生み出し、施設内の会議室も含めて様々なニーズに対応。
- ②大屋根上部も広場として利用。雁行型ホールの形状(柱配置)を活かすことで、屋上広場は、小規模スペースが繋がる、連続的で動的な印象に(変化が楽しめる)。
- ③ホールに可変スペースを設けることで、分割利用時のホワイエ機能等を補完。また、ホール分割利用時の遮音性能が向上し、約10db低減(=D-60:ピアノやステレオなどの大きな音が殆ど聴こえないレベルを確保)。
- ④大会議室兼バンケットルームを3階に配置することで、施設面積をコンパクトに。

<課題>

- a.ホールが矩形でないため違和感をもたれる恐れ。
- b.ホールがよりフレキシブルに使える一方で、ホール分割利用時の一つ一つの面積が、見直し方針時の案に比べると小さい。
- c.屋上広場における大人数のイベント開催に制約。
- d.取得費が若干高くなる可能性。



【見直し方針時(BIG ROOF)の特徴】

- ・大屋根広場や屋上広場は、それぞれ独立しており、広いスペースを確保しているため、大人数の利用に向けている。
- ・一体的には利用でき大きなイベントを行いやすい。

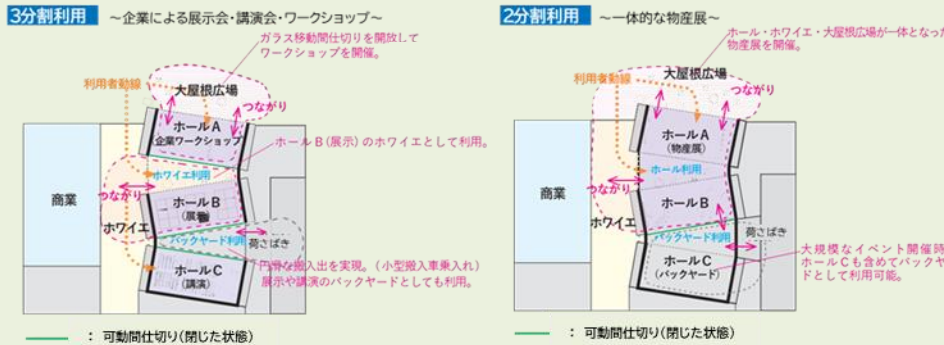
【今回検討案(STREET PARK)の特徴】

- ・空間の変化があり特徴を持ったスペースが連続する構成は、イベント利用・日常利用の両方に対応しやすい。
- ・それぞれのスペースで多様な活動が共存できる。

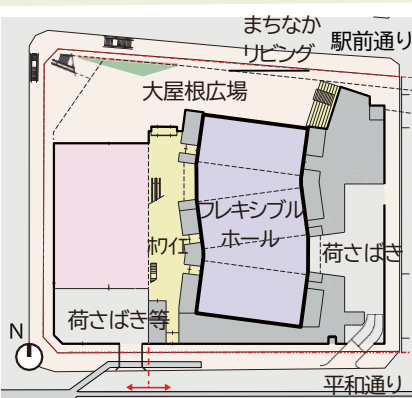
・市施設面積概算 : 14,500 m²程度*
 ・市施設取得費見込み : 270~300 億円程度*

* 取得費見込みはR6.3ベースの概算。面積概算・取得費見込みとも今後の設計・積算により変更の可能性がある。

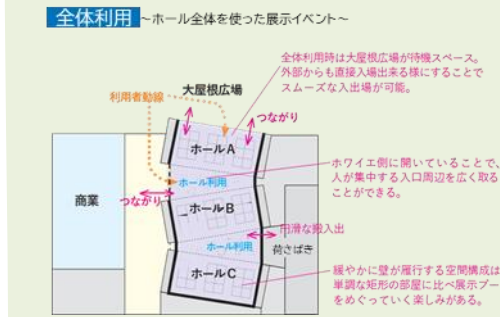
よりフレキシブルで周囲とつながる雁行型ホール



駅前通りから見たイメージ。



民間エリア 公共エリア
配置図兼1階平面イメージ



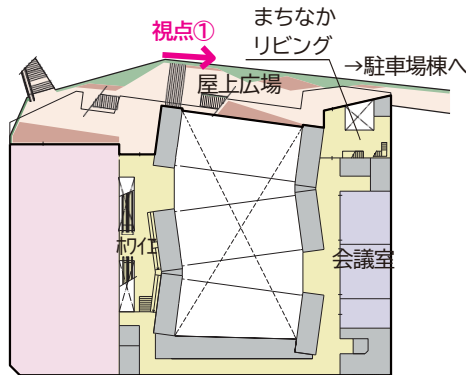
ホール内観イメージ。



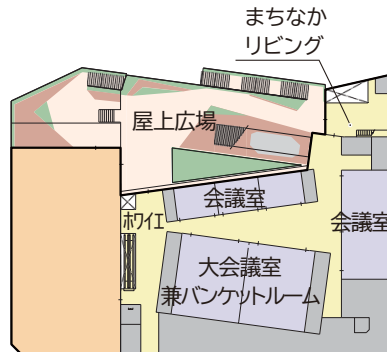
■視点①：屋上広場からホールの様子が見える。



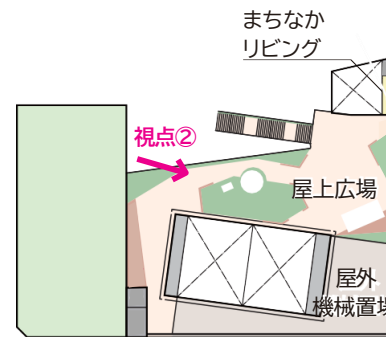
■視点②：子ども達の遊び場となる大きな広場。



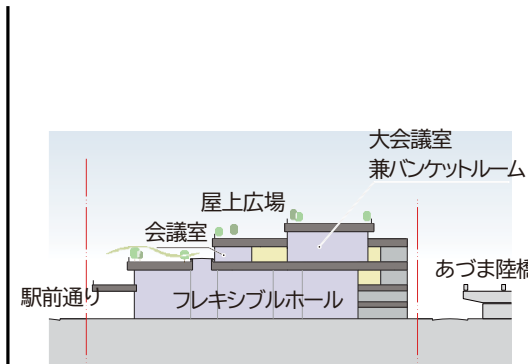
2階平面イメージ



3階平面イメージ



4階平面イメージ



断面イメージ